(3月中に記入)

_													
	事務事業名		中心市街地	活性化事業		担当課経済観光記			担当係		商工政策係		
	長期振興計画	施策	商工業の振興	ļ		課長名	i 松	元 明和	担当者	<b>当名</b>	蓑茂	友興	
	の位置づけ	基本事業	商店街の活性	化		事業年月	度 H23	-	(H29)	(H29)		41403	
•	開始のきっかけや 取り巻く状況	ちづくりの為の 続的にまちづ いを進め、1つ 特にくろしおの 上げられる機	の「皆既日食」をという取り組みを開始しくりに関わる体制がいつ見現化していい。 の芸術祭についてた。 会も多くなってきた。 で田芸術祭との連携	たことが事業を が構築されてきて くことを目標とす よ、継続的な取糸 。商店街への集	開始したきっか! 「いる。商工会内 る取り組みは、そ 且の結果として熊 客という直接的	ナである。単発的  部にまちづくり委  後大いに期待で  本県から視察団	なイベントが主流 員会を設立し、A できるものである。 Iが訪れたり、各種	であったが、継継続的な話し合 連メディアに取り	予算事業 (H30		113601		
		対象西之	表市商工会((商	店街に集客す	る取組み)				事業主	主体	ī	ħ	
	事業概要	手段 補助	金の申請受付、	審査、決定通知	口、概算申請受	付、概算交付、	実績報告受付	、確定通知	実施計画	-	総合戦略	-	
		意図 多くの	意図 多くの市民に参加してもらえるようなイベントを運営してもらう								辺地	-	
	年度別	前	年度(平成28年	度)	当該	:年度(平成29:	年度)	Ş	欠年度(平	成30年	丰度)		
担当者	事業内容	ティ溢れ、市 献でき、地域 受できる場へ	こおける商店街: 民が集い更に観 住民が生きがい と創造する。 手術(くろしおの芸	光事業にも貢いや楽しみを享	ティ溢れ、市民 献でき、地域 受できる場へ	住民が生きがい と創造する。 しおの芸術祭)・	光事業にも貢 いや楽しみを享	れ、市民が集住民が生きが 造する。	はける商店街をオリジナリティ溢い更に観光事業にも貢献でき、地域いや楽しみを享受できる場へと創したの芸術祭)・繁盛店づくり事業を				
者	従事職員数(人)	担当課	1 関係課 0	臨時 0	担当課 1	関係課 0	臨時 0	担当課 1	関係課	0	臨時	0	
がぇ		決算額	1,600	(千円)	決算額	1,800	(千円)	予算額	1,80	00	(千円)		
八力		002補助金	1,600		002補助金	1,800		002補助金	1,800				
ı		特定	0 一般	1,600	13 7	0 一般	1,800	特定	0	一般	1,8	300	
	評価指標(単位)		年度(平成28年	E度)					度(H30)			丰度	
	町脚1日1赤(千世/	中間値 (事中評価)	実績値(事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	目標	値	評価	理由	
	来場者数		5,000	4,000		5,000	4,000			4,000	商店街の 高まること 興に結び	で商業振	
	取組内容成果	しみ くろし 商店 る。 i	市街地におけるを享受できる場よの芸術祭は街とのつながり、 あ店街の食への待される。	へと創造する 、空き地を活 Jが生まれコ	。 用した事業と ュニティーア	して市民から ートとして定着	も喜ばれてい もしている。こ	る。また、芸術 のつながりを	が活動もで 重視してい	ҕ民に いくこと	喜ばれて が重要と	おり、 :考え	
	課題	徐々	に市民参画が	進んでおり,認	別も高まって	いるが,更に第	集客効果を高の	めるためのエ	.夫と体制	づくりだ	が課題で	ある。	

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イント	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	Δ
=⊞	されているか	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	Δ
課長	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
が		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	Δ
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0
	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	0
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0
	女子な正型がたなりでいるが、	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

#### 事務事業マネジメントシート ~平成29年度の振り返りから30年度の取組へ~ ※委託料/負担金補助及び交付金/扶助費/貸付金の執行額がある場合には該当する欄を確認

$\overline{}$	<u> </u>								
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト						
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	0					
	により団体等を	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	0					
	支援する事業	3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	0					
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?						
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?						
	-1.15	1	市の支援範囲は妥当か?						
課	融資・貸与を 行う事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?						
課長が記入	13.54.510	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?						
記		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?						
人	委託事業	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?						
	安礼尹未	3	市が求める成果水準を達成しているか?						
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?						

#### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)	
В	評価結果の根拠 及び今後の課題

皆既日食イベントをきっかけとし、継続的な事業として取り組んでいる。構成としては、芸術・食などの要素を商店街に持ち込むことで集客力を高めようとするもの。ワークショップやイベントなどを中心に取り組んでおり、最近ではベンチを制作するなど、市民サービスの向上にも寄与している。ただし、類似の事業や成果の把握など整理すべき課題もある。

(3月中に記入)

	事務事業名	I	宇宙芸術	· · · · · ·		担当課	! 終	済観光課	担当	区	商工政策係	
ŀ		施策	商工業の振興	1X T X		課長名		元 明和	担当		蓑茂 友興	
	長期振興計画 の位置づけ	長期振興計画								(H29) 414		
	開始のきっかけや 取り巻く状況	1市2町にて商	 	会等の関係団	本にて実行委員 年度は本祭、 <sup>3</sup>	会を組織し、	宇宙芸術祭を写	ミ施することと 業を行う。		予算事業コード (H30)		603
		対象 種子島	<b>第</b> 種子島宇宙芸術祭 事業主体 市									
	事業概要	手段 宇宙芸	芸術祭実行委員: 会支出、総会、幹		実施計画	-	総合戦略	-				
		意図多くの	意図 多くの島民や観光客に参加してもらえるイベントを開催してもらう。 過疎 〇 辺地									
İ	年度別	前年	丰度(平成28年	度)	当該	年度(平成29:	年度)	,	欠年度(平	成30年	年度)	
	事業内容	宇宙芸術祭実い、開催を支ジプレイベントか		て協議等を行	宇宙芸術祭実い、開催を支: 本祭が開催さ		て協議等を行	催を支援する 昨年度の実績 施する。	昨年度の実績をふまえ、規模を縮小し事業を実			
担业	従事職員数(人)	担当課 1	関係課 0	臨時 0	担当課 1	関係課 0	臨時 1	担当課 1	関係課	0	臨時	1
者		決算額	275	(千円)	決算額	400	(千円)	予算額	40	0	(千円)	
担当者が入力	財源	001負担金	275		001負担金	400		001負担金	400			
		特定	0 一般	275	特定	0 一般	400	特定	0	一般	40	00
İ	== /= <del>                                     </del>		丰度(平成28年	度)	当該	年度(平成29:	年度)	次年	度(H30)		前年	E度
	評価指標(単位)	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	目標	値	評価	
	参加者数		2,481	2,000		3,018	3,500			3,500	多くの島民	
-											客に参加しい、島内観済の振興を め。	光と経
	取 組 内 容 宇宙芸術祭実行委員会等にて協議等を行い、開催する。											
	4、心心 (1) 台	丁田	ム門ホ大门女!	ス女サにて防	መመጀ <del>ማ</del> ፈገነ <b>ሪ ነ</b>	いかほりつ。						
	成 果	島外にも広く事業実施が宣伝され、多くの観光客が来島した。また、島内住民の参加								者にも好評であった。		
	課題	宣伝	効果や作品の	完成度は良か	いったが、事業	美運営や予算	確保について	改善が必要と	と思われる	5.		

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	Δ
	されているか	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	Δ
課長	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
課長が記入		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	Δ
入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0
	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	Δ
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0
	ムナなは高さいてなっているが、	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

$\overline{}$	<u> </u>								
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト						
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	0					
	により団体等を	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	0					
	支援する事業	3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	0					
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?						
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?						
	-1.15	1	市の支援範囲は妥当か?						
課	融資・貸与を 行う事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?						
課長が記入	13.54.510	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?						
記		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?						
人	委託事業	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?						
	安礼尹未	3	市が求める成果水準を達成しているか?						
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?						

### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)	)	本事業については、中心市街地活性化事業との連携による相乗効果を期待し、商店街への集客
В	評価結果の根拠及び今後の課題	を高めることを目的として取り組んでいる。ただ、実施主体は1市2町の中で南種子町と大学が担っており、業務的な負担感は少ないが、効果も明確に把握することも難しい。現在は、事業への直接参加者をもって成果としているが、今後、商店街への波及を把握していくことが必要。

_																			
	事務事業名	ā	まちかん	どイン	フォメー	ーション・	センタ	一事業		担	当課	1	経	済観光課	担当	係	商工	政策係	
	長期振興計画	施領	策	商工業	の振興	ļ				課	長名	i	松	元 明和	担当	者名	蓑茂	友興	
	の位置づけ	基本	事業	港町(商	商店街)	の活性			事業	<b>美年</b> 原	度	H29	-	(H29)		41409			
	開始のきっかけや 取り巻く状況	か拠点が	施設とし 同年5	て試験	鈴的運用	用された。	市民	や商店街関係	者に	好評で	あっ	たため、	平成2	)期間、まちな 9年4月から再 業として実施	丁昇 <del>  </del>	予算事業コード (H30)		3604	
		対象	商店街:	まちかる	どインフ	フォメーシ	<b>゚</b> ョンセ	ンター							事業	主体	ī	市	
	事業概要	手段I	インフォメーションセンターの維持・管理・運営。掲示板、デジタルサイネージ、まちかど通信、S 手段 NS等を利用した情報発信。イベントや企画展の開催実施支援。まちなか休憩所としての市民 の活用。商店街関係者の会議等の場所としての活用。								実施計画	-	総合戦略	0					
		意図	多くの市	<b>方民や</b> 勧	見光客(	こ利用し	てもらし	ハ、商店街の	集客。	∶情報⋬	発信	を行う。			過疎	-	辺地	-	
	年度別		前年	度(平	成28年	[度)		当記	亥年月	〔平原	<b>丈29</b> :	年度)			次年度(=	F成304	年度)		
	事業内容					たイベント等	ォメー に取り 向上る た島	ション J組み 図る。 外への	セング、更ない。セング	ターを起 な 集客 ターに。 発信や	点とし による kるSN セン	インフォメーシ に取り組み、 図る。センタ-	商店街への各個店への波及効インフォメーションセンターを起げに取り組み、更なる集客による「図る。センターによるSNS等を活く報発信やセンターを利用したする。						
担当	従事職員数(人)	担当課		関係課		臨時		担当課 1	関係	系課	0	臨時	3	担当課 1	関係課	0	臨時	4	
		決算額		(	)	(千円)	)	決算額		5,883	3	(千円)	)	予算額	6,3	75	(千円)		
者が入力	財源							001 臨時雇用者 賃金 002謝金 001消耗品費 002燃料對國製本費 006戶幾種運搬 000戶 002〇A機器信運器借 002〇A機器 料 047空き店舗等 借上料	i L	320 200 150 39 60 304 29 116 142 523				001臨時雇用者 賃金 001消耗品費 002燃料製 004即制製水費 005が熱水費 006修繕料 001通信運器借上料 007空き店舗等 借上料	3,810 150 40 48 80 109 143				
		特定			一般			特定 2	2,478	-	-般	3,4	05	特定	3,187	一般	3,	188	
	冠体化+=(光/4)				成28年	F度)			亥年月	〔平月		年度)			度(H30)		前生	年度	
	評価指標(単位)	中間:		実網 (事後		目標	標値	中間値 (事中評価)	(	実績値 事後評値		目標	標値	中間値 (事中評価)	目標	!値	評価	i理由	
	来館者数(人)									6,	,951		6,000			6,000	所としても おり、来食	ちなかイ 処点、休憩 ら活用して 官者数を事 ・達成の評	
								┃											
	成 果		町なか	の拠点	点施設	の一つ。	として	定着し、利用	月者σ	増加	も見	られる。	,						
	課題							ベントの開催 がりの強化を						ていく。企画:	運営に係	る協力	者の参加	増や、	

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イント	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	Δ
=⊞	されているか	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	0
課長が	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
が		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	0
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0
	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	Δ
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0
	ムーなに言うというこう	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

	E Z MA 7 ME 7 (OHICOR)	<u>不安比州/ 其汇业州均及00人门业/ 认均其/ 其门业04份门银// 000物口口600日,00辆仓柜的</u>						
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ント	check				
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?					
	により団体等を	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?					
	支援する事業	3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか					
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?					
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?					
		1	市の支援範囲は妥当か?					
課	融資・貸与を 行う事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?					
長が	1177	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?					
記		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?					
人	<b>委託事業</b>	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?					
	安礼尹未	3	市が求める成果水準を達成しているか?					
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?					

### ②【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)		
В	評価結果の根拠 及び会後の理題	商店街活性化の代表的な事業である。集客効果も高まり、商店街の拠点化は図られたが、各店舗への展開力はまだ弱い。現在は制度を活用した市の直轄事業であるが、将来的には、民間との連携による商店街の拠点化を図る必要がある。

(3月中に記入)

	事務事業名			商店	街景観				:	担当課	Į	経	済観光訓	<del></del> 果	担当·	係	商工政	策係
	長期振興計画	施	策	商工業	の振興				1	課長名		松	:元 明和		担当者	名	蓑茂	友興
	の位置づけ	基本	事業	港町(商	あ店街)	の活性化		事業年度 H29 -							(H29)		41411	
	開始のきっかけや 取り巻く状況	観統一 店街活	による 性化委	美観向」 員会(す	Lと、近 可商店街	生推進交付金年全国的に増 年全国的に増    振興協同組合    関協同組合。	加が続い	てい	るインバ	ウンドの	対策の	ために	、西之表	市商	予算事業 (H30)		113	605
		対象 西之表市商店街振興協同組合(インバウンド対策及び景観統一への取り組み)											事業主体		市			
	事業概要	手段	向上の	国内のみならず、外国人による集客向上を目的として助成を実施する。また、商店街の魅力(付加価値) 向上のため、景観統一等について検討を行い助成を行う。関係者企画運営等協議、補助金処理等、商 店街景観統制事業補助金として西之表市商店街振興協同組合に助成する。										実施計画	-	総合戦略	0	
		意図	図 商店街の付加価値向上と利便性の向上による観光客の増加								過疎	-	辺地	-				
	年度別		前年	度(平	成28年	度)		当該	年度(平	₽成29	年度)			ž	欠年度(平	成30年	拝度)	
15	事業内容						の作成など、外国人による集客向上を目的 見 として助成を実施する。また、商店街の魅 上						見込み協	みならず、外国からのインバウント 劦議等行う。商店街の魅力(付加付から か、景観統一等について検討を行			西値)向	
担当	従事職員数(人)	担当課		関係課		臨時	担当課	1	関係課	0	臨時	1	担当課	1	関係課	0	臨時	1
担当者が入力	財源				(千円)	決算額 002補助		1,800	000	(千円)		予算額 002補助	金	800 800		(千円)		
		特定			一般		特定		900	一般	90	0	特定			一般	40	0
	評価指標(単位)	中間(事中)	値	度(平	植	・	当該年度(平成29年原 中間値 実績値 (事中評価) (事後評価)				次年       目標値       中間値 (事中評価)		直	度(H30) <sub>目標値</sub>		前年 評価:		
	セミナー等実施回数(回)	(7-11	21 IM/	(7 🔎	11 July		(711	1 111117	(7)	4		3	(7 1 11	(争中計画)		3	3 事業実施によ	
	景観統一の仕組み作り (件)									1		1				0	目的達成た取り組みことができ	みとする
	取組内容	国内のみならず、外国人による集客向上を目的として助成を実施する。また、商店 景観統一等について検討を行い助成を行う。関係者企画運営等協議、補助金処								 占街 <i>0</i> Ŀ理。	)魅力(付	加価値	評価指標 直)向上 <i>0</i>					
	成果		門家に	こよる指	導∙助	ついては、マ 言・調査を行 ペストリーを作	い、セミ	ナー	等を開催	崖し、景	けい しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしょ しゅう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょ しゅう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしゅう はいしゅう はいまい しゅうしゅう はいまい しゅうしゅう しゅう はいしゅう はいはい はいしゅう はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	に向い	ナ商店街					
	課題	景観統制については長期的な関係者協議が必要となることから、今後も専門家を含む									含め	含めた入念な検討が必要。						

課長が記入	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識されているか	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	0
		3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	0
	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
が		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	Δ
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	Δ
	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	Δ
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0
	公平は任祖のになっているか	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

	E Z MK 7 ME 7 (OHECK)	<u> </u>	1147 貞正並補助及び入門並/決助員/貞門並の採門領がのの物目には成当りの側で推設	
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト	check
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	0
	により団体等を	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	0
	支援する事業	3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	0
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?	
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?	
	-12- 45- 4	1	市の支援範囲は妥当か?	
課	融資・貸与を 行う事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?	
課長が	11777	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?	
記入		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?	
٨	委託事業	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?	
	安礼尹未	3	市が求める成果水準を達成しているか?	
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?	

#### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)

A

評価結果の根拠 及び今後の課題 市長施策の「港町再生」構想を補完するものであり、商店街振興組合を中心とした取り組みである。この取り組みを推進していく中で、将来的にはハード整備も必要となってくるので、出来る限り現時点から行政も一緒となった協議を進めてほしい。短期的には、インバウンドなどの交流人口を拡大するための強みつくり等が主であるので、長期的視点も取り入れたものとしてもらいたい。

(3月中に記入)

	Unimote And Criain-	/														(0),	
	事務事業名			商店	街魅丿	力創出事業			:	担当課	1	経	済観光課	担当	当係	商工政	<b>女策係</b>
	長期振興計画	施	策	商工業	の振興					課長名	i	松	元 明和	担当	者名	蓑茂	友興
	の位置づけ	基本	基本事業 港町(商店街)の活性化 事業年度 H29 -							(H2	(H29)		112				
	開始のきっかけや 取り巻く状況	子島は あり、 <sup>3</sup>	t平成2 平成30	29年8 0年秋(:	月にア こはロオ	5創生推進交 ニメ聖地88〕 ドティクスノー いて大きな可	選に選ば -ツの続	えれる 編の	など、フ ゲームの	アニメに	おいて	も人気	である島	で ア昇争:		113	606
		対象	西之表市商店街振興協同組合(アニメを題材にしたイベントや、最先端技術や大自然等をテーマにしたアートを活用した取り組み)										然事業	事業主体		ħ	
	事業概要		関係者企画運営等 協議、補助金処理 商店街魅力創出事業補助金として西之表市商店街振興協同組合に助成する								実施計画	<u> </u>	総合戦略	0			
		意図	観光客の商店街へ集客を高め、人的交流及び経済交流の活性化を図りつつ、本市への滞在時間の延長を図る。							過疎	-	辺地	-				
	年度別		前年	度(平	成28年	度)		当該	逐年度( <u>-</u>	平成29:	年度)			次年度(	平成30:	年度)	
	事業内容						アニメを題材にしたイベントや、最会技術や大自然等をテーマにしたアーを活用した取り組みを実施。 関係者企画運営等協議、補助金原理。					<b>7</b> ート	や大自然 取り組みる	にたイベントや、最先端テーマにしたアートを活り あ。 営等 協議、補助金処理		用した	
担业	従事職員数(人)	担当課		関係課		臨時	担当課	1	関係課	0	臨時	1	担当課	関係課	0	臨時	1
ョ者		決算額	Į	C	)	(千円)	決算額		89	92	(千円)	)	予算額	2,0	00	(千円)	
担当者が入力	財源						002補助	金	892				002補助金	2,000	)		
		特定			一般	·	特定		146	一般	44	-6	特定	1,000	一般	1,0	00
	=亚(亚比)			度(平	成28年	度)			年度(三	平成29:	年度)		次年度(H30)			前年	F度
	評価指標(単位)	中間(事中		実網 (事後)		目標値	中間 (事中記			実績値 (事後評価) 目標値		傾	中間値 (事中評価	) 目相	目標値		理由
	イベント実施回数(回)							1			1			1		により、目	
	企画展実施回数(回)									1		1			的達用 1 り組み		句けた取 ⁻ることが ○評価指
	取組内容	組 内 容 アニメを題材にしたイベントや、 店街へ集客を高め、人的交流及															客の商
	成 果	成果 アニメイベントについては聖地道 誤が行われ完成度も高かった。						゚ング	バスツフ	アーを到	実施し、	デザィ	(ンやツア-	一等の取り	組みに	ついては	試行錯
	課題 広報について期間が短く大きな					が短く大きな負	集客につ	なが	らなかっ	った。							

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト							
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0						
	正しく認識 されているか	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	0						
		3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	0						
課長が記	A 46 I de II .	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0						
が	今後も有効に 機能し続けるか	2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	Δ						
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0						
	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0						
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	Δ						
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0						
L	五十な江祖のによりているが	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0						

$\overline{}$	<u> </u>			
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イント	check
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	0
	により団体等を	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	0
	支援する事業	3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	0
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?	
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?	
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か?	
課		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?	
課長が記入	13.54.510	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?	
記		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?	
人	委託事業	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?	
	安礼尹未	3	市が求める成果水準を達成しているか?	
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?	

#### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)

評価結果の根拠 及び今後の課題 商店街景観統制事業と目的を同じくする事業として位置付けられる。この事業については、主にアニメを活用した集客効果を高めることで、新たな交流人口の拡大を目指しており、国内外のアニメファンを対象としている。アニメについては、日本のサブカルチャーとして世界に認知されており、その人気は拡大の一途である。この機会を活用し、島外の企業「カドカワ」などと連携することで相乗効果を高めようという動きも進んでいる。

(3月中に記入)

	事務事業名			中	小企業	支援事業			担当課		経	済観光課	担当	係	商工	政策係
	長期振興計画	施统	策	商工業	の振興	ļ			課長名		松	元 明和	担当都	<b>当名</b>	蓑茂 友興	
1	の位置づけ	基本	事業	企業支	援			Ę	<b>事業年</b> 原	隻	S23	-	(H29)		41501	
	開始のきっかけや 取り巻く状況	平成27: 業者に 数は増	年度か 助成しか 加する 度の他	ら実施している。 していく にも県々	っている 中小企 見込み	利子補給補 業者の規模 がある。	から事業開始。 助金については 広大や新規参入 :業団体中央会	:商工会。 .は、大き	くはなし	いが持続	性があ	5り、今後も件		予算事業コード (H30)		3702
1		対象	市内中	小企業	者								事業主体		7	市
	事業概要							会に負担金を納めている。特定中小企業者の認定(セーフ 利子補給補助金の公募と補助金処理。					実施計画	-	総合戦略	-
		意図	経営技	術が安	定・向_	とする。							過疎	0	辺地	-
	年度別		前年	度(平	成28年	F度)	当該	年度( <del>-</del>	平成294	年度)		ટ	欠年度(平	成30年	年度)	
	事業内容	協会、中付、特定 オット保	中小企業 日中小1 証制度 金の公	業団体で企業者の を業者の まり作業。 募と補助	中央会( の認定 、商工 動金処	め、県特産品 に負担金納 (セーフティー 業振興利子補 理など、市内 テう。	協会、中小企付、特定中小ネット保証制統補助金の公	協会、中小企業団体中央会に負担金納付、特定中小企業者の認定(セーフティー オット保証制度)作業、商工業振興利子補給・経済制度の必要と対明の現実と対明を必要します。					内中小企業を支援するため、県特産品は か企業団体中央会に負担金納付、特定 所の認定(セーフティーネット保証制度) に業振興利子補給補助金の公募と補助 など、市内中小企業を支援する業務を行			定中小企 )作業、 助金処
扫	従事職員数(人)	担当課	1	関係課	0	臨時	1 担当課	関係課	0	臨時	1	担当課 1	関係課	0	臨時	1
当	ji	決算額	į	3,5	559	(千円)	決算額	4,6	625	(千円)	)	予算額	4,02	26	(千円)	
担当者が入力	001 者 賃金 001消 001備 費 001負 002補		品費 購入 金	808 49 21 145 2535			001臨時雇用 者賃金 001消耗品費 001負担金 002補助金	2721 50 145 1709				001臨時雇用 者賃金 001消耗品費 001消担金 002補助金	831 50 145 3000			
1		特定	(	)	一般	3,559	特定	0	一般	4,6	25	特定	0	一般	4,0	026
	評価指標(単位)			度(平		F度)	_	当該年度(平成29年度)					次年度(H30)			年度
	計1111111111111111111111111111111111111	中間 (事中記	値 評価)	実約 (事後		目標値	中間値 (事中評価)	中間値 実績値 目標値 「事中評価」 「事後評価」			傾	中間値 目標値		値	評価	i理由
	経営状況回答 5%(良くなった+変わらない) ※目標50%以上				38	5	0		46		50			50		
	景気推移に対する見通し % (非常に悪くなる+悪くなる) ※目標50%未満				55	5	0		50		50			50	経営を安 ために必 である。	
	※景気動向調査															
	取組内容		県特産品協会、中小企業団体中央会に負担金納付、特定中小企業者の認定( 工業振興利子補給補助金の公募と補助金処理など、市内中小企業を支援する										ト保証 かんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	[制度)作	業、商	
	成 果					者を支援す 援に役立っ	る事業であり、 ている。	商工業	振興利	]子補糸	計補助:	 金などは商工	会と連携	して取	り組んて	ぎおり、
	課題		雇用の確保のためには今後も商工業者の経営の安定が重要である。													

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識 されているか	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	0
		3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	0
課長	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
が		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	0
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0
,	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	0
	公平な仕組みになっているか -	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0
		2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

		<u>/// JK</u>		
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ント	check
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	0
	により団体等を	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	0
	支援する事業	3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	0
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?	
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?	
	融資・貸与を行う事業	1	市の支援範囲は妥当か?	
課		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?	
長が	11777	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?	
記		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?	
人	委託事業	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?	
	安礼尹未	3	市が求める成果水準を達成しているか?	
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?	
ı				

#### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)

評価結果の根拠 及び今後の課題 地域経済の浮揚を促すうえで、企業活動における資金流動性の確保は必然である。ただし、その 手法は様々あり、本事業は、地域内事業者の経営安定化を目的とした利子補給を行うことで実施 している。廃業・倒産数が増加していることもあり、いかに持続的な企業活動を促し、後継者対策 含めた事業継続を進めていくかがポイントとなる。この事業を継続することで金融機関の理解と事 業者の前向きな取り組みへとつながっている。

(3月中に記入)

_	_											-	
	事務事業名		商工会活	動支援事業		担当課	経	済観光課	担当	í係	商工政	效策係	
	長期振興計画	施策	商工業の振興	Į.		課長名	i 枚	元 明和	担当	者名	蓑茂	友興	
	の位置づけ	基本事業	企業支援			事業年月	变 S53	-	(H29)		41401		
	開始のきっかけや 取り巻く状況	ため、昭和5 に切り替える 大規模小売 た。一方、小	の補助を行い、約 3年度より開始。 5。 店舗進出により、 規模小売店舗に こより、より広い?	平成26年度より , 小規模小売店 は、日祝日等の	J, 商工会活動 舗の経営が厳 営業等経営形!	補助金として、 しくなり、空き店 態の改善や商品	運営補助では 話舗が目立つよ	なく, 活動補助	予算事業 (H30		113	703	
		対象 商工	商工業者(補助対象団体:商工会) 事業主体										
	事業概要		補助金申請の受付、審査、決定通知、概算申請の受付、概算交付、実績報告受付審査、確定通知								総合戦略	-	
			街づくり(商店街の発展のために、複数事業者が共同で行う活動)推進のための事業等商工会の活動に積極的に取り組んでいただく。								辺地	-	
	年度別	前	年度(平成28年	<b>F</b> 度)	当該	年度(平成29:	年度)	į	欠年度(平	成30年	年度)		
担当者が入	事業内容	携、観光サー助。自らが往商工業の活動を展開して者の派遣。和 ・講響を表現しております。 ・講習を表現しております。 ・表記では、表記では、表記では、表記では、表記では、表記では、表記では、表記では、	ービス対策等の デづくり事業を推 性化を図ることを こいる。商工業者 脱務・金融、借り、 会の開催。個人情 ・講習会。決算税	の商工振興対策、広域連 だス対策等の事業への補 だり事業を推進することで、 比を図ることを目的とした活 あ。商工業者への経営指導 新・金融、借り入れ面の個別 の経営指導。講習会の開催。個人情報講習会。建 習会。決算税務研修会。経 など。							助。自らか の活性化 いる。商エ :融、借り 、情報講習	街づくり を図るこ 業者へ へれ面の 子会。建	
者が	従事職員数(人)	担当課	1 関係課 0	臨時 0	担当課 1	関係課 0	臨時 0	担当課 1	関係課	0	臨時	0	
入力		決算額	1,320	(千円)	決算額	1,320	(千円)	予算額	1,320		(千円)		
71	財源	001負担金 002補助金	20 1,300		001負担金 002補助金	20 1,300		001負担金 002補助金	20 1,300				
		特定	0 一般	1,320	特定	0 一般	1,320	特定	0	一般	1,3	20	
	三亚/亚-15-1-西 / 兴 /上 \		年度(平成28年	[度]		年度(平成29	年度)		变(H30)		前年	F度	
	評価指標(単位)	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	目標	値	評価		
	経営状況回答 5%(良くなった+変わらない) ※目標50%以上		38	50		46	50				商工業の 市の経営		
	景気推移に対する見通し % (非常に悪くなる+悪くなる) ※目標50%未満		55	50	50		50		50		定に不可商工会のは、本市のに直結して	欠であり、 健全運営 D活性化	
	※景気動向調査										ら。	ימשיי	
	取組内容		商工会との各種協議、総会・イベント等の出席 補助金申請の受付、審査、決定通知、概算申請の受付、概算交付、実績報告受付審							通知			
	成 果	少子が、	高齢化と人口 経営安定や地域	減少、大型店 <sup>:</sup> 域貢献につい	舗の進出等に て積極的に取	こより、市内のなり組んでおり	商工業につい、問題解決に	ヽては現状維 ニ向けた意識・	持も容易 や取り組∂	ではな みにつし	い状況で ハて評価	はある できる。	
	課題	今後	今後も事業者の加入促進を図り、商工業者の経営安定と地域貢献を図っていただき								こだきたい		

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識 されているか	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	0
		3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	Δ
課長		1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
課長が記	今後も有効に 機能し続けるか	2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	0
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0
	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	0
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	Δ
	女士なは酒がらなっているが、	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

		<u> </u>	1047 兵に立情の人じ人で立て人の兵/兵で立つが一日記がひる初日には民ニテで領と権助	
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ント	check
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	0
	により団体等を	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	0
	支援する事業	3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	0
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?	
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?	
		1	市の支援範囲は妥当か?	
課	融資・貸与を 行う事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?	
課長が記入	1177-1	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?	
記		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?	
人	委託事業	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?	
	安礼尹未	3	市が求める成果水準を達成しているか?	
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?	

### ② 【総合評価】振り返り(Check)

П	O ENGLISHED MATTER ( )		
	総合評価(課長)		**************************************
	В	評価結果の根拠 みが会後の理題	商工業振興の為、助成しているが、約900事業所のうち52%の参加団体であるため、未加入事業者の加入促進を図ってほしい。また、参加率50%を切ると商工会連合会からの事務局長費用助成金がカットされるため、必ず50%を維持してほしい。

(3月中に記入)

	①时間→天施(Fian-	<b>,</b>										にして		
	事務事業名		企業活動	支援事業		担当課	ļ.	経済観光課	担当	係	商工政	汝策係		
	長期振興計画	施策	商工業の振興	Į.		課長名		松元 明和	担当和	<b>省</b>	久留	康平		
	の位置づけ	基本事業	雇用対策			事業年歷	雙 H2	H24 - (H29)			41603			
	開始のきっかけや 取り巻く状況	図ってきたが、条	考える人に対しての	を受けるには、「新	規雇用3名」、「事	業所の新設・増設等	等(新たな設備	企業立地促進を 役資)」という要件があ 支援として新たな補	予算事業 (H30		113	3704		
			・川内で起来を考えている団体、個人等											
	事業概要		募集→相談対応 責報告確認。事			查委員会開催)	☑→補助金交付	実施計画	-	総合戦略	_			
			品開発や販路開					過疎	0	辺地	-			
I	年度別	前组	年度(平成28年	F度)	当該	年度(平成29:	年度)		次年度(平	₹成304	年度)			
	事業内容	人または市内 人等を対象に 事業活動及び	s動を行なう事業 で起業を考えて、新商品開発・ が起業、新規分野で る補助金の交付	ている団体、個 販路開拓等の 野参入などの	人または市内 人等を対象に 事業活動及び		いる団体、 販路開拓等 B参入などの	個 は市内で起業 の に、新商品開	を考えてし 発・販路開	いる団体 拓等の	所、団体、個人ま  体、個人等を対す の事業活動及び。  を支援する補助			
担	従事職員数(人)	担当課	関係課 0	臨時 0	担当課 1	関係課 0	臨時	0 担当課 1	関係課	0	臨時	0		
担当者が入力	財源	決算額 002 補助金	1,000	(千円)	決算額 002 補助金	1,500 1,500	(千円)	の2 補助金	2,400	00	(千円)			
		特定	0 一般	1,000	特定	0 一般	1,500	特定	0	一般	2,4	100		
	評価指標(単位)		年度(平成28年	F度)		年度(平成29	年度)		次年度(H30)			丰度		
	計画相保(半位)	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	目標値		評価	理由		
	交付決定数(回数)		3	3		5		3						
	起業件数		0	1		5		1		1				
	取組内容							いる団体、個人 助金の交付を行		.に、新	商品開务	€•販路		
	成 果	産業	振興、雇用の創	創出の解決の	ために寄与し	ており、商店	街の空き店	舗解消にも効	果が出てい	いる。				
	課題	課題 特になし												

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イント	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	0
	されているか	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	Δ
課長	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
長が		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	Δ
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0
	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	0
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0
	ムナなは高さいになっているが、	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

		<u>/1\ 35.</u>		
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ント	check
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	0
	により団体等を	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	0
	支援する事業	3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	0
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?	
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?	
	-1 M	1	市の支援範囲は妥当か?	
課	融資・貸与を 行う事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?	
課長が	11777	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?	
記入		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?	
人	委託事業	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?	
	安託争未	3	市が求める成果水準を達成しているか?	
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?	

#### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)

A

評価結果の根拠 及び今後の課題 事業者支援については、企業誘致・創業者支援・既存事業者経営等支援など、国・県含めた各種補助制度を複層的に活用し、様々な状況に対応している。この企業活動補助事業については、小規模事業者支援として効果的な事業である。成果指標については、経営支援的要素も高く、雇用数も成果にしてよいと考える。

(3月中に記入)

事務事業名															
子切子术 日			Ĵ	創業支	援事業			担当課		経	済観光課	担当	係	商工证	政策係
長期振興計画	施	策	商工業	の振興	ļ			課長名		松	元 明和	担当者	<b>省</b> 名	久留	康平
の位置づけ	基本	事業	企業支	援			특	事業年度	吏	H29	-			41606	
開始のきっかけや 取り巻く状況											て、市区町村が	予昇事業コート (H30)		113	3705
	対象	対象 創業希望者及び創業して5年以内の創業者									事業主	事業主体		ħ	
事業概要	手段	F段 経営指導・ビジネススキル研修・経営力向上セミナー等の創業支援										実施計画	0	総合戦略	-
	意図 創業希望者による創業の実現化。既に創業している者へ対しては経営力の強化									過疎	0	辺地	-		
年度別		前年	度(平	成28年	F度)	当該	年度(-	平成29年	丰度)			欠年度(平	成30年	丰度)	
事業内容					希望者もしくは倉 た経営指導、ビジナー等の創業支 創業を支援する。 会等)とともに連 地域における創	業して5年 ジネススキ 援を行う。 事業者(経 携を図りな 業者の支持	以内の創水の側のの側では、水田間のかりでは、水田間のかりでは、水田は、水田は、水田は、水田は、水田は、水田は、水田は、水田は、水田は、水田	業者を対 経営力向 ウハウを対 金融機関 者の支援 開業率の	対象とし 上セミ 活用して 、商エ を行う。 O向上を	しくは創業して5年 ネススキル研修、 民間のノウハウを 体、金融機関、商 支援を行う。地域	F以内の創業 経営力向上 活用して創 可工会等)とと における創業	者を対象セミナー等を支援 もに連携 をを支援	さとした経営 等の創業支 する事業者 を図りなが 援を通して「	指導、ビジ 援を行う。 (経済団 ら創業者の 開業率の向	
従事職員数(人)	担当課		関係課		臨時	担当課	関係課	0	臨時	0	担当課 1	関係課	0	臨時	0
	決算額	Į	(	)	(千円)	決算額			(千円		予算額		3	(千円)	
財源						002 晋通旅費 001 消耗品 002 補助金	199				001 消耗品	28 589 550			
	特定			一般		特定	0	一般	7	74	特定	0	一般	6	36
		前年	度(平	成28年	F度)	当該	年度(	平成29年	年度)		次年	度(H30)		前年度	
評価指標(単位)					目標値	中間値 (事中評価)			目標	票値	中間値 (事中評価)	目標	値		理由
起業件数								5		1			5		
取組内容		創業す	を援ネッ	<b>トワー</b>	-クを立て上け	、商工会、金	ì融機関	等と連	携して	創業希	望者に対し	て支援を行	うった。	,	
成 果		今年度	を創業者	<b>省5件</b>											
課題		農協な	り漁協も	交えて	て創業者に対	して広く支援	をできた	<b>ないか</b> 。							
	の位置づけ 開始のきっかけや 取り巻く状況 事業概要 年度別 事業内容 従事職員数(人) 財源 評価指標(単位) 起業件数	基本	の位置づけ     基本事業       開始のきっかけや取り巻く状況     平成26年1月20 創業者       対象 創業者     手段 経営指意図 創業者       意図 創業者     手段 経営指意図 創業者       事業内容     投事職員数(人)       財源     特定       評価指標(単位)     中間値(事中評価)       起業件数     和 内 容       取組内容     創業者       成果     今年度	基本事業 企業支   原始のきっかけや   取り巻く状況   東京援事業者と連携    対象   創業希望者及   事業概要   手段   経営指導・ビジ   意図   創業希望者に     事業内容     財源     特定     財源     特定     市年度(平中間値   大野額     中間値   大野額     大野和   基本事業   企業支援	基本事業 企業支援   企業支援   日本事業 企業支援   日本事業 企業支援   日本事業 企業支援   日本事業 企業支援   日本事業	展別振興計画 の位置づけ 基本事業 企業支援	基本事業 企業支援	基本事業	基本事業 企業支援 事業年度   事業年度   事業年度   事業年度   事成の位置づけ   基本事業 企業支援 事業年度   事業長事   中間値 (事中評価) (事後評価) 日標値 (事中評価) (事後評価) 日標値 (事中評価) (事後評価) 日標値 (事中評価) (事後評価) 日標値 (事後評価) 日標 (事後評価) 日標値 (事後評価) 日標値 (事後評価) 日標度しているまた。	要別機與計画 の位置づけ 基本事業 企業支援	放送   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大	本本事業 企業支援   事業年度	基本事業 企業支援		

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	0
	されているか	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	0
課長	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
長がい		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	0
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0
	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	0
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0
	女士な圧症がいこなりでいるが、	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

	E/ Z がなりとう(OfficeR)	<u>/// 3C</u>	1147 貞垣並補助及び又刊並/及助員/ 貞刊並の執行情がのの物台には成当りの情で推設	
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト	check
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	
	により団体等を 支援する事業	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?	
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?	
		1	市の支援範囲は妥当か?	
課	融資・貸与を 行う事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?	
長が	11777	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?	
記		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?	
入	<b>委託事業</b>	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?	
	安礼尹未	3	市が求める成果水準を達成しているか?	
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?	

### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)

A

評価結果の根拠 及び今後の課題 金融機関・商工会団体・行政が連携し、創業者支援を実施するもので、今までになかった多面的サポート体制であり、具体的な創業に結びつきやすい。今後、あらゆる職種に対応できるよう、ネットワークの幅を広げていくことも必要。

(3月中に記入)

		,											(0),	一口しノく)
	事務事業名		イ	ンターン	シップ事業		担	当課	経	済観光課	担当	係	商工证	改策係
	長期振興計画	施策	商工	業の振興	ļ		課	長名	松	元 明和	担当	者名	久留	康平
	の位置づけ	基本事	工業 企業	支援			事	業年度	H28	H28 -		)	41606	
	開始のきっかけや 取り巻く状況				学生の職業選択能 ちな人材を確保する						予算事業コード (H30)		113	3705
		対象	大学生と市内事業所										市	
	事業概要	手段プ	大学の就職キャリアサポートセンターとの連携と受入事業所確保のための広報活動										総合戦略	-
		意図 カ	大学生等に。	よる就業化	本験を通じて、	新たな雇用を	生み出す				過疎	0	辺地	_
	年度別	年度別 前年度(平成28年度) 当該年度(平成29年度)								 欠年度(平成30年度)				
	事業内容	用不足		る分野の	の事業所へ	大学生等に 用不足が生 の就業促進	じているタ	分野の事	業所へ		よる就業体験をi vる分野の事業原 を行う。			
±Α	従事職員数(人)	担当課	1 関係記	果 0	臨時 0	担当課	1 関係課	0 臨	侍 0	担当課 1	関係課	0	臨時	0
担当者が入力	財源	決算額 002 補助		325	(千円)	<b>決算額</b> 002 補助金	165	千	円)	予算額 002 補助金	<b>50</b>	_	(千円)	
		特定	163	一般	162	特定	83 -	一般	82	特定	250	一般	2	50
	三亚(亚北山西 / 兴 /上 )		前年度(		度)			年度(平成29年度)			年度(H30)		前年	丰度
	評価指標(単位)	中間値 (事中評		₹績値 後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評		目標値	中間値 (事中評価)	目標	値	評価	理由
	受入事業所数			3	3			2	2			3		
	大学生参加人数			7	7	5		5		6				
	取組内容	J	大学の就職キャリアセンターや受入事業所と連携をとり、学生の受入が滞りなくいくよ									本制を	整えた。	
	成 果		昨年度よりは、学生の参加募集人数は少なくしたが、平成28年度から今年度まで計64名の学生が来島しており、18歳~22歳の本市で一番少ない年代が来島することにより地域の活性化に寄与する基盤を作ることができた。											
	課題	ÿ	重携大学を	·増やし、	種子島の魅力	力や企業PR	の機会を与	増やす。						

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	0
	されているか	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	0
課長	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
長が		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	0
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0
	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	0
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0
	女士な正型がいてなっているが、	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

		<u>/IN 38.</u>		
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ント	check
	補助金・負担金支出	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	0
	により団体等を	2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	0
	支援する事業	3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	Δ
	現金・現物の	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?	
	給付事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?	
		1	市の支援範囲は妥当か?	
課	融資・貸与を 行う事業	2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?	
長が	1177-7	3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?	
記		1	明確な目的のもとで委託がなされているか?	
人	委託事業	2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?	
	女礼尹未	3	市が求める成果水準を達成しているか?	
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?	

#### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)

評価結果の根拠 及び今後の課題 本市の雇用環境は、受け皿不足と人手不足が混在しており、特に最近では人手不足の問題が大きくなっている状況である。このことを解消する術は少なく、今のうちから対策を立てていかなければならないことでもある。本事業は、直接的な雇用には結びつけにくいが、将来的に移住者を呼び込むなどの手立てを打つうえでも重要な施策であると考えられる。現在の対象業種は、人手不足が目立っている医療福祉分野を中心としているが、今後は他業種へも拡充していく必要がある。

(3月中に記入)

	事務事業名			有工振	興事業			担当課	<b>.</b>	<b>E済観光課</b>	担当	係	商工政	女策係
Ì	長期振興計画	施策	商工業の	の振興	·			課長名	<b>†</b>	公元 明和	担当	<b></b>	蓑茂 友興	
	の位置づけ	基本事業	事業 地場産品の振興 事業年度 H28 -								(H29	)	41402	
	開始のきっかけや 取り巻く状況	いる。これらた、市内事	の課題の解 業者の経営	解決や 不振り	の縮小、大型店 改善を図り市内 ウ孤立化は今後 業者支援を充実	内商工業者の 後とも悪化する	支援を行 可能性	うため! があり、i	こ事業を実施 商工会や商店	している。ま 活振興協同組		予算事業コード (H30)		802
		対象 市内	商工業者	事業3	事業主体		ħ							
	事業概要	手段 商工会参	段 商工業の振興に係る新規販路構築、販売促進、商談、特産品等のPR、セミナー等開催, 商談 会参加, 各種出張										総合戦略	-
		息凶 を図	事業を多角的に経営できるようになり、販路開拓や経営手腕の充実により雇用や利益の増加 を図ることができる。 過疎 〇 覧										辺地	-
Į	年度別	前	了年度(平F	<b>龙28</b> 年	(度)	当該	年度( <del>-</del>	平成294	年度)	,	次年度(平	<del>z</del> 成304	年度)	
	事業内容	促進、商談 催, 商談会	、特産品等 参加, 各種	のPR、 出張	路構築、販売、 、セミナー等開 携して実施す	促進、商談、	促進、問談、特性品等のPR、セミナー等開 商談、特別 では、商談会参加、各種出張 参加、各種 市内事業者や関係団体と連携して実施す 市内事業					セミナー	構築、販売促進、 -等開催, 商談会 して実施する。	
İ	従事職員数(人)	担当課	1 関係課	0	臨時 0	担当課 1	関係課	0	臨時	0 担当課 1	関係課	0	臨時	(
l		決算額	1,53	30	(千円)	決算額	1,5	510	(千円)	予算額	2,01	3	(千円)	
担当者が入力	財源	002謝金 旅品運 002 普	120 342 177 35 101 108 29 423 46 144			002謝金 002普通旅館 003特通旅品運費 001消信 数明 001通信 数明 002年 数明 012会場 借上 201車借材 上 4038機材 057市備工事 場整	0 506 300 206 77 4 108 42 51			002謝金 002普別金 003特別結果 001前印 004前 費 001 通 手場 0012金 手場 性借 012会 012会 日本 018機 12 018機 12 018機 14 018 15 018 16 018 16 018 17 018 18 018 18 018 18 018 18 018 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 1	190 384 98 301 200 85 5 220 50 180 300			
ļ		特定		一般	1,530	-77	646	一般	864	1770	704	一般	1,3	309
	評価指標(単位)	中間値	年度(平月		度)	当該中間値	年度(3	平成29年 積値	年度)	次年。 中間値	度(H30) T			<b>手度</b>
	経営状況回答 5%(良くなっ	(事中評価)		平価)	目標値	(事中評価)		評価)	目標値	(事中評価)	目標値		評価	埋田
ļ	た+変わらない) ※目標50%以上			38	50			46	5	0		50		<del>_</del>
	景気推移に対する見通し % (非常に悪くなる+悪くなる) ※目標50%未満			55	50			50	5	o e	50		商工振興るためのるため	
	※景気動向調査													
	取組内容	商工業の振興に係る新規販路構築、販売促進、商談、特産品等のPR、市内事業者や関係団体と連携して事業実施。							セミナー等開	催,商談:	会参加	,各種出	張等	
	成 果	平成29年度は東京都庁での観光物産展も行うなど、新たな販路開拓への取り組みは							の取り組みは	継続され	ている	0		
	課題	1	_ 業者への 実施した		的な支援であ	り、関係団体	との連	携を強	化し、他の	<b>事業との組み台</b>	合わせも乳		ながら更し	こ効果

	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ン ト	check
	仕事の目的は	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?	0
	正しく認識	2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	0
韗	されているか	3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	0
課長が記	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0
が		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	Δ
		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0
入	効率的に	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	0
	行われているか	2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	0
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0
	五十な江祖のになっているか	2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0

		<u> </u>						
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イント					
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?	0				
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?	0				
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか	0				
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?					
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?					
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か?					
課		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?					
長が		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?					
記	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか?					
人		2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?					
		3	市が求める成果水準を達成しているか?					
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?					

### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)

評価結果の根拠 及び今後の課題 商工振興の基本部分を担う事業であり、当然他事業との類似性も見られる。特に、特産品関連については、いくつかの事業展開がある。ただし、生産者セミナー・衛生管理セミナーなどの基本的部分やスキルアップを推進する内容でもあり重要な事業である。

(3月中に記入)

		,												(-);	
	事務事業名			産業間連	!携推進事業			担当	課	経	済観光課	担当係		商工政策係	
	長期振興計画	施策 商工業の振興					課長	名	松	元 明和	担当者名		久留 康平		
	の位置づけ	基本	基本事業 地場産品の振興					事業年度 H26		-	(H29)		41	708	
	開始のきっかけや 取り巻く状況										予算事業コード (H30)		134301		
	事業概要	対象	象 種子島地域産業推進協議会							事業3	事業主体 市		ħ		
		手段	総会、運営委員会の開催、商談会・物産展への参加								実施計画	-	総合戦略	-	
		意図	協働の事業実施								過疎	0	辺地	-	
	年度別		前年	度(平成28	年度)		当該:	年度(平成2	9年度)		次年度(平成30			丰度)	
	事業内容	協、森林業を実施した。	林組合が施していた推進する。	いくことで, 種・ トる。	携し, 共同の事 子島の地域ブ	協、森林ラ 業を実施した化る	市内各産業(商工会、農協、漁協、酪農協、森林組合)と行政が連携し、共同の事業を実施していくことで、種子島の地域ブランド化を推進する。					《連携し, ; 島の地域で 総会開催,	共同の ブランド	協、酪農協、森林 事業を実施してい 化を推進する。 R施(イベント等参	
	従事職員数(人)	担当課	2	関係課	0 臨時	0 担当課	1	関係課	0 臨時	0	担当課 1	関係課	0	臨時	0
担当者が入力	財源	決算額 002 謝普 003 特消 004 明 006 修通 001 費	金 通旅費 別 耗品 料 製 養	60 デザイ	会場使用料•	000 002 謝 58 002 普 78 003 特 001 消 004 印 費 005 光	002 普通旅費 800 003 特別旅費 1,030 001 消耗品 1,341 004 印刷製本 4,00 料 236 002 普通旅費 003 特別旅費 001 消耗品 0,001 河利耗品 0001 消耗品				840 1,430 350 406 360	012 会 038 機	(千円) 場借上料 材借上料	230 100	
		特定	2,2	260 一般	2,541	特定	1,0	001 一般	₹ 4,6	602	特定 2	,220	一般	2,2	221
	評価指標(単位)			前年度(平成28年度)			当該年度(平成29年度)			次年度(H30)			<b></b> 前年度		
		中間 (事中	引値 評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間(事中)		実績値 (事後評価)	目相	票値	中間値 (事中評価)	目標	値	評価	理由
	協働イベント(回数)				4	4			1	1			1		
	種子島デザインを使用し 作成したもの(数)				4	4			1	1			1		
	取組内容		総会、運営委員会の開催、商談会・物産展への参加												
	成果		長期振興計画における産学官連携推進を具体化した事業であり、様々な連携を通ししている。							連携を通して	地域活情	生化・産	<b>Ĕ業振興</b>	に寄与	
	課題			号デザインの の確立を推っ		しており、	今後、	地域産業推	<b>進協議</b>	会を中	心として市内	業者に普	· 及し、	種子島の	)地域ブ

	評価の視点	主 な 見 る べ き ポ イ ン ト					
	仕事の目的は 正しく認識 されているか	1	総合計画に掲げられる課題の解決手段になっているか?				
		2	市が税金を投入して行うべき仕事か?	0			
		3	正しい成果認識による成果の把握ができているか?	0			
課長	今後も有効に 機能し続けるか	1	成果の向上余地はあるか?(限界に達していないか、環境変化等で効果が失われていないか)	0			
が		2	類似の事業が他にないか?(一本化しても良いような仕事が他課や他団体(国県等)にはないか)	Δ			
記入		3	市民や事業所(企業・NPOなど)との役割分担は適切に認識されているか?	0			
	効率的に 行われているか	1	成果を落とさずに事業費を削減する方法(業務仕様や工法の工夫、外部委託等)はないか?	Δ			
		2	業務のやり方を工夫して業務時間を削減できないか。正規職員以外でできる仕事ではないか?	Δ			
	公平な仕組みになっているか	1	同じ条件をもった市民や団体が公平に扱われているか?	0			
		2	受益者負担は適正に設定されているか?(非受益者から見て納得が得られるか)	0			

		<u> </u>	<u> 不要的行员运业情况及0人们业/次均量/其门业以外门银//000场首に66的当产的限色</u>				
	評価の視点		主 な 見 る べ き ポ イ ント	check			
	補助金・負担金支出 により団体等を 支援する事業	1	補助金、負担金支出の理由となる事業実績は把握されており、金額は適正か?				
		2	交付団体が活動により生まれた成果の報告を受け、把握されているか?				
		3	同種活動をする団体のうち一部の団体のみに交付するなど、不公平な仕組みになっていないか				
	現金・現物の 給付事業	1	所得制限が設定されているか。設定されていない場合、それが妥当と言えるか?				
		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複する場合、問題はないか?				
	融資・貸与を 行う事業	1	市の支援範囲は妥当か?				
課		2	国・県その他の団体が行う事業と重複をしていないか。重複している場合、問題はないか?				
課長が記入		3	融資事業では、債権管理が適切になされているか?				
記	委託事業	1	明確な目的のもとで委託がなされているか?				
人		2	委託先が固定化していないか?固定している場合、自治法の随意契約理由に適っているか?				
		3	市が求める成果水準を達成しているか?				
		4	適切な委託費(予算)が確保されているか?				
			·				

#### ② 【総合評価】振り返り(Check)

総合評価(課長)

評価結果の根拠 及び今後の課題 各産業での経済活動の中で、協働して取り組めることから進めており、イベントへの協働出展やブランド認証マークの共有を軸としている。ただ、特産品の販路構築は別事業でも実施しており、共通取組部分との棲み分けは必要。また、認証マークの普及については改善の余地があり、いかに取り組みを推進するかが課題となっている。